

シニア会同好会「振動・音響」「材料・加工」開催

3月6日、山口大学・常盤キャンパスの一室で、シニア同好会を開催しました。参加者は8名。

今年から「材料・加工」の同好会も発足し、そのキックオフを「振動・音響」と合同で実施しました。

発起人の山本さんから趣旨の説明があり、モノを扱う立場から幅広く議論しようという方向になりました。

テーマの一例は、廉価な素材の表面を高機能化する技術です。もう一件、金枝さんから骨穿孔用工具

の課題の紹介もありました。

次いで、森田さんが「加振力がわからなくても振動応答を予測できる手法の提案」を発表しました。

翌日の新しい「産官学連携特別セッション」におけるプレゼンの予行的な位置づけで、応用できそうな

事象の候補等について意見交換しました。特に、森田さんの手法による<効果>が定量的にわかれば、

ニーズも具体化してくるはず、というコメントが出ました。

3件目は、佐藤が「山斜面崩壊発生クライテリオン」と題して、独断的な見解を述べました。学生時代に齧ったという材料強度学に託けて、斜面の崩壊も減多矢鱈に生じるわけではなく、人工物も含めて

「切り欠き」「介在物」に相当する物が山斜面にも存在し、それらが起点になる可能性を指摘しました。

「もっと色々な条件で生じる」「土木や土質の専門家に任せた方がよいのでは？」という至極もつともな意見もありました。

シニア同好会は、「晩学といえども碩学に昇る」「老当益壮」という精神で今後も開催していきますので、気軽に参加をお願いします。

尚、所属や肩書は省略しました。

(文責：佐藤一教)

